

平成 29 年 12 月 27 日 (水) KEK つくばキャンパス 小林ホールにて

## 物質構造科学研究所 設立 20 周年記念シンポジウム

### 「物質構造科学の過去・現在・未来」

プログラム

13:00～13:05 所長挨拶 山田 和芳 (KEK 物構研 所長)

13:05～13:20 「KEK の機構化と物構研 20 年の歩み」 野村 昌治 (KEK 理事)

**放射光を用いた物質科学の展望** 座長：河田 洋 (KEK 物構研)

13:20～13:35 阿部 仁 (KEK 物構研)

「硬 X 線から見る物質構造科学研究 (所) の姿」

13:35～13:50 北村 未歩 (KEK 物構研)

「材料開発のための放射光分光」

13:50～14:05 山本 達 (東大 物性研)

「VUV・軟 X 線光源を用いた物質科学研究の現状と展望」

**放射光を用いた生命科学の展望** 座長：河田 洋 (KEK 物構研)

14:05～14:20 清水 伸隆 (KEK 物構研)

「より複雑な機能性物質・生体システムの理解を目指して」

14:20～14:35 安達 成彦 (KEK 物構研)

「遺伝子発現制御に関わるタンパク質巨大複合体の構造・機能・進化」

14:35～14:50 村田 武士 (千葉大・理)

「X 線を用いた膜タンパク質の結晶構造解析の展望」

休憩 (15 分)

**中性子を用いた物質科学の展望** 座長：門野 良典 (KEK 物構研)

15:05～15:20 山田 悟史 (KEK 物構研)

「生き残るために必要な『進化』～強いビームは本当に必要？」

15:20～15:35 横尾 哲也 (KEK 物構研)

「中性子散乱の今昔」

15:35～15:50 川北 至信 (JAEA)

「中性子による物質・生命科学の健全な発展のために」

平成 29 年 12 月 27 日 (水) KEK つくばキャンパス 小林ホールにて

**ミュオンを用いた物質科学の展望** 座長：門野 良典 (KEK 物構研)

15:50～16:05 竹下 聡史 (KEK 物構研)

「ミュオン物性科学研究への期待」

16:05～16:20 松田 恭幸 (東大)

「もっと広がれ、物構研の世界」

16:20～16:35 梅垣 いづみ (豊田中研)

「産業界におけるミュオン利用の展望」

**陽電子を用いた物質科学の展望** 座長：門野 良典 (KEK 物構研)

16:35～16:50 永井 康介 (KEK 物構研/東北大 金研)

「陽電子を用いた物質研究の将来と物構研低速陽電子実験施設の役割」

16:50～17:05 和田 健 (量研)

「低速陽電子ビームによる局所表面構造解析の展望」

休憩 (15 分)

**電子加速器の将来展望** 座長：瀬戸 秀紀 (KEK 物構研)

17:20～17:35 原田 健太郎 (KEK 加速器)

「最強の蓄積リング型光源を目指して」

17:35～17:50 宮島 司 (KEK 加速器)

「線形加速器型光源の展望」

17:50～18:05 細貝 知直 (大阪大・工)

「リピータブルな GeV 級電子ビームの生成を目指したレーザー航跡場加速研究」

**中性子・ミュオンビームの将来展望** 座長：瀬戸 秀紀 (KEK 物構研)

18:05～18:20 三島 賢二 (KEK 物構研)

「新しい中性子の発生と利用」

18:20～18:35 米村 祐次郎 (九州大・工)

「10MW 超級大強度ハドロン円形加速器の新提案」

**物構研の将来** 座長：瀬戸 秀紀 (KEK 物構研)

18:35～18:50 次期 物構研所長 小杉 信博 (分子科学研究所)

「大学共同利用機関としての物構研の将来像」

19:00～20:50 懇親会 司会：村上 洋一 (KEK 物構研)

小林ホール前ラウンジにて